

1 土橋の万作踊り

表 1 土橋の万作踊り小道具一覧
日

調査日：令和 5（2023）年 11 月 30

調査 No	名称	点数	概要
1	ほっかむり	1	66.0 cm。
2	手甲	1	67.0 cm。
3	脚絆	1	64.5 cm。
4	草鞋	1	鼻緒が赤色。女役が用いていた。
5	草鞋	1	鼻緒が水色。女役が用いている。
6	草鞋	1	「大津絵」の与三郎が用いる。
7	雪駄	1	「土橋踊り」で用いる。
8	雪駄	1	「土橋踊り」で用いる。
9	拍子木	1	昭和 60 年 11 月吉日の墨書あり。
10	摺り鉦	1	大きいもの。かつて用いていた。
11	摺り鉦	1	小さいもの。近年まで用いていた。

第三節 小道具一覧

本節では、各保存会に所蔵される小道具類の一覧表と、特徴的な小道具について図版で掲載する。なお、小黒万作は使用されていた当時の名称等が不明のため、補遺として図版のみを掲載する。



2 長井町飴屋踊

表2 長井町飴屋踊小道具一覧

調査日：令和6（2024）年6月29日・30日

調査 No	名称	点数	概要
1	脇差	1	「笠松峠」の仙太郎で使用したものか。
2	刀	1	「笠松峠」の仙太郎で使用したものか。
3	四つ竹	8	「白樹粉屋」で使用。適宜、新たに製作している。
4	笠	1	「新川」に使用する。新しく購入した。
5	笠	1	「新川」に使用する。昔から用いていた。
6	カネ	1	楽に用いる。
7	撞木	1	楽に用いる。
8	ツケ	1	楽に用いる。本番用。
9	ツケ	1	楽に用いる。練習用。大工であった和久井氏が作成。
10	傘	18	「ねんねこ」に使用する。
11	櫓	10	「新川」に用いる。練習用。和久井氏作成。
12	櫓	10	「新川」に用いる。本番用。
13	かつら	1	男物。「白樹粉屋」の婿が着用する。
14	かつら	1	女物。「白樹粉屋」の嫁が着用する。
15	まげ	1	男髷。「五段目」で使用したものか。
16	かつら	1	女物。娘役に用いると聞いている。
17	かつら	1	女物。娘役に用いると聞いている。一番古いかつらである。
18	かつら	1	男物。使用した役は不明。
19	かつら	1	毛ではなく植物性の繊維で編み込まれたもの。シュロか。
20	かつら	1	調査 No. 19と同様の繊維で編み込まれている。月代は紙製。
21	三味線	1	楽で用いていた。
22	幕	1	松に短冊模様。
23	幕	1	縦 2.21 × 横 4.34m。 「番場若者中志ん上新宿手踊御連中江」の文字あり。 現在は背景幕に用いている。



3 菊名のあめや踊り

表3 菊名のあめや踊り小道具一覧

調査日：令和6（2024）年5月18・19日

調査 No	名称	点数	概要
1	かつら	4	戦時中～戦後間もない頃のものか。紙製。男女物。
2	かつら	7	シュロで編んだもの。使用していない。月代は紙製。
3	かつら	2	人毛、男役のかつら。状態は良いが使用していない。
4	かつら	3	人毛、女役のかつら。金属の枠。使用しておらず、髪が結われていない。
5	かつら	5	人毛、男役のかつら。金属の枠で、一部その上から布で巻かれている。
6	かもじ	10	人毛。まげに用いるためのものか。昭和47年と書かれた新聞で巻かれていた。
7	人毛	29	まとめられていない人毛。
8	かつら下地	1	かつら下地か。未使用品。
9	かつら	1	細田の和尚のかつら。山田幸重氏が使用していたもの。
10	刀	5	鍔付き。
11	太刀	1	鍔無し。刀身は金属の棒。
12	短刀	1	「笠松峠」のお松が用いていた。錆びているが、実刀。
13	火縄銃	1	「五段目」の勘平が用いていた。木製、破損。これ以前は空気銃に薬を巻いて使用していた。
14	大小	2	「五段目」の弥五郎の刀と脇差。脇差については「笠松峠」のお松も使う。
15	大小	2	「五段目」の弥五郎の刀と脇差。購入したが使用していない。
16	刀	1	「五段目」の定九郎の刀。赤鞘。
17	刀	1	「五段目」の勘平の刀。
18	棒	4	かつて幕を引くのに使われていた竹製の棒。
19	めくり	1	めくりを使っていた際に、演目の紙を挟んでいた。T字形の台にかけて使用する。
※	拍子木	1	古い拍子木。「亀」と書かれており、寄贈者の屋号か。紐を通す穴がなく、拍子木でなくツケ木の形状をしている。
20	十手	2	かつて演目で使われていた。
21	刀	5	練習用の刀。刀を使う役が適宜用いる。2本は刀身が金属製、そのうち1本は金属の上から銀紙が巻かれている。残りは竹光である。
22	短刀	1	「笠松峠」のお松の練習用の短刀。
23	杖	2	「五段目」の与市兵衛の持つ杖。練習用。
24	杖	1	「五段目」の与市兵衛の持つ杖。本番用で、持ち手に紙が巻かれている。
25	短刀	1	「笠松峠」のお松が用いる。購入したが使用していない。
26	刀	1	「五段目」の弥五郎が用いる。購入したが使用していない。
27	傘	1	「五段目」の弥五郎の傘。本番用。
28	傘	1	「五段目」の弥五郎の赤い傘。練習用。
29	傘	1	「五段目」の弥五郎の傘。令和6年に大平氏が寄付。
30	傘	1	「五段目」の弥五郎の傘。練習用。
31	傘	1	「五段目」の弥五郎の傘。練習用。
32	傘	1	「五段目」の弥五郎の傘。練習用。
33	傘	1	「五段目」の弥五郎の傘。本番用。
34	傘	4	「子ども子守」の練習用。
35	傘	5	「子ども子守」の本番用。
36	傘	3	「子守」の練習用。
37	傘	3	「子守」の本番用。長さは練習用と変わらない。なお、「細田」の娘もこの傘を用いる
38	火縄銃	1	「五段目」の勘平が用いる。平成20年に復活した際に購入したもの。
39	幕	1	「菊名青年會江」と書かれた幕。40 - 41と同時代か。
40	幕	1	「評議員」と書かれた青い幕。
41	幕	1	「幹■」と書かれた青い幕。42と同形。
42	幕	1	掛け小屋上段に用いていた幕。
43	刀	2	刀。購入したが使用していない。
44	櫓	2	「子ども新川」で用いる。斉田氏製作。練習用
45	櫓	3	「子ども新川」で用いる。斉田氏製作。本番用
46	櫓	4	「新川」で用いる。練習、本番で区別はない。
47	ツケ	1	菊名では板と拍子木を共にツケと呼んでいる。使用している。
48	ツケ	2	拍子木の予備。
49	カネ	2	カネ。楽で使用する。2個とも用いる。本番用。
50	撞木	7	鐘を鳴らす撞木。6本は頭がつき、1本は棒のみ。
51	まり	9	「子ども子守」で使うまり。ビニール製。練習用。
52	手拭い	6	練習で使用する手拭い。「飴屋踊り保存会」と書かれたものが本式のもの。かつてあった演目を描いたものであり、「駕籠かき」のシーンがあったとのこと。
53	鉄砲	2	「五段目」で、定九郎の撃たれる場面で用いる空砲。
54	木魚	1	「細田」の和尚が身に着ける木魚。
55	扇子	10	練習用。池田氏の寄附したものや、「白松粉屋」で用いていたものが混じっている。

56	人形	3	「子守」で用いる人形。衣装は子どものお宮参りで使ったものを流用している。
57	人形	4	「子ども子守」で用いる人形。衣装は手縫いで仕立てたもの。
58	ツケ	5	練習用に作成した拍子木。現在は使用していない。
59	縄	1	「五段目」の勘平が用いる縄。本番用。
60	縄	4	「五段目」の勘平が用いる縄。練習用。
61	火縄	2	「五段目」の勘平が用いる火縄。本番用と練習用の区別はない。
62	財布	1	「五段目」の与市兵衛が用いる財布。本番用と練習用の区別はない。
63	蓑	1	「五段目」の勘平が着用する蓑。本番用。
64	三度笠	1	「五段目」の与市兵衛、「子ども笠松峠」の仙太郎がつける三度笠。
65	蓑	1	「五段目」のイノシシが身に着ける蓑。子ども用。池田氏製作。
66	蓑	1	「五段目」のイノシシが身に着ける蓑。元々使っていた。
67	扇子	2	「白松粉屋」で用いる扇子。本番用。
68	四つ竹	4	「白松粉屋」で用いる四つ竹。歌が書かれている。本番用。
69	台	2	「白松粉屋」で用いる台。四つ竹を置くもの。本番用。
70	四つ竹	2	「白松粉屋」で用いる四つ竹。 練習用で、子どものサイズに合わせた小さいものであるが、使用していない。
71	四つ竹	2	「白松粉屋」で用いる四つ竹。練習用だが、使用していない。
72	怨敵退散	2	「笠松峠」の仙太郎が掲げる紙。古いものと新しいものがある。どちらも用いる。
73	三度笠	1	「笠松峠」の仙太郎が身につける笠。本番用。
※	わらじ	1	「笠松峠」の仙太郎が身に着けるわらじ。本番用。
※	振りわけ荷物	1	「笠松峠」の仙太郎が身に着ける荷物。二つの包みが紐で結び付けられている。本番用。
74	羽根	6	「子ども子守」で用いる羽子板の羽根。練習用。
75	扇子	4	「子ども子守」で用いる扇子。練習用だがあまり使用していない。
76	まり	4	「子守」で用いるまり。子ども、大人で兼用。本番用。
77	扇子	4	「子ども子守」で用いる扇子。本番用。
78	扇子	3	「子ども子守」で用いていた扇子。現在は子どもが増えたため、№77の扇子を用いている。
79	羽根	6	「子守」で用いる羽根。子ども、大人で兼用。本番用。
80	足袋	1	「笠松峠」の仙太郎が身に着ける足袋。本番用。
81	足袋	1	「子ども笠松峠」で仙太郎が身に着ける足袋。本番用。たすきなどの道具類は大人と兼用。
82	日の丸扇子	7	「かきがら」、「細田」の奴が持つ扇子。練習用。
83	扇子	4	「子ども子守」で用いる扇子。練習用か。
84	日の丸扇子	6	「かきがら」、「細田」の奴が身に着ける扇子。本番用。
85	日の丸扇子	4	「かきがら」、「細田」の奴が身に着ける扇子。予備。
86	手拭い	3	いくつかの演目で用いる。本番用。「飴屋踊り」の柄。
※	豆絞り赤	3	「大人子守」で用いる。
※	豆絞り青	13	ほっかむり等で用いる。
87	雪駄	3	「五段目」の弥五郎が履く雪駄。本番用。
88	荷物	1	「五段目」の与市兵衛が持つ荷物。本番用。
※	てこ	1	「五段目」の与市兵衛が着用するてこ。本番用。
※	脚絆	1	「五段目」の与市兵衛が着用する脚絆。本番用。
※	草履	1	「五段目」の与市兵衛が着用する草履。本番用。
89	かつら	1	「五段目」の与市兵衛のかつら。山田幸重氏が着用していたもの。
90	てこ	1	「細田」の和尚が身に着けるてこ。本番用。
※	脚絆	1	「細田」の和尚が身に着ける脚絆。本番用。
※	ふんどし	1	「細田」の和尚が身に着けるふんどし。本番用。
※	タマ	1	「細田」の和尚が股間部に取り付ける布団。「玉」とも呼ぶ。
91	扇子	3	「子守」で用いる扇子。本番用。
92	かんざし	2	「こども白松粉屋」で嫁が付けるかんざし。大中小で1セット。本番用。
93	かんざし	7	「白松粉屋」で嫁が付けるかんざし。本番用。 なお、本来は大中小で1セットだが、小がない。
94	かんざし	2	「細田」の娘がつけるかんざし。鶴の意匠。池田氏製作。
95	かんざし	1	「細田」の娘がつけるかんざし。鎌田氏製作。
96	かんざし	7	「子守」で用いるかんざし。本来は大中小で1セットだが、小がない。
97	ボディー (タオル肌着)	12	衣装の下に着用する。手縫い。
98	肌襦袢	10	衣装の下に着用する。手縫い。
99	補正肌着	7	衣装の下に着用する。手縫い。
100	襟芯	8	襟芯。
101	腰ひも	30	衣装の下に着用する。ガーゼで作られている。
102	足袋	25	それぞれの演目で着用する足袋。
103	足袋	※	それぞれの演目で着用する足袋。予備
104	まえご	17	それぞれの演目着用する。保存会員の自作。
105	かつら下	13	かつらの下につける。紫が女役、青が男役。
106	短パン	6	衣装の下に着用する。保存会員の自作。

※	股引	1	衣装の下に着用する。保存会員の自作。
107	腰巻	5	メリンス製。
108	提灯	1	「五段目」の弥五郎が持つ提灯。本番用。
109	提灯	1	「五段目」の子どもが弥五郎を演じる時に持つ提灯。練習用。石井氏の寄贈。
110	提灯	1	「五段目」での子どもが弥五郎を演じる時に持つ提灯。大人の提灯に近い。本番用。
111	たすき	11	「子ども新川」に用いる。練習用。



4 戸川の飴屋踊り

表4 戸川の飴屋踊り小道具一覧

調査日：令和5（2023）年12月21日

調査No	名称	点数	概要
1	冠	5	飴屋踊りで用いる冠。保存会員の自作。
2	扇	3	歌い手が持つ扇。飴屋踊りの歌詞が書いてある。
3	太鼓	3	歌い手が持つ太鼓。ささら踊りで用いるものと共通。
4	ささら	3	歌い手が持つささら。ささら踊りで用いるものと共通。



補遺 小黑万作

補遺 小黑万作小道具写真

調査日：令和6（2024）年6月29日・30日



第四節 飴屋踊り、万作踊り関係文献一覽

- 文芸委員会編 一九一四 『俚謡集』 文部省
- 西角井正慶 一九二九 「万作芝居の話」 『民俗芸術』二(二)
- 日本放送協会編 一九四四 『日本民謡大観 関東篇』 日本放送出版協会
- 町田嘉章・浅野建二編 一九六〇 『日本民謡集』 岩波書店
- 永田衡吉 一九六三 「民俗芸能」 神奈川県立図書館編『神奈川県歴史(県下の民俗篇下)』 神奈川県立図書館
- 永田衡吉 一九六八 『神奈川県民俗芸能誌』 錦正社
- 神奈川県企画調査部県史編集室編 一九七七 『神奈川県史各論編5 民俗』 神奈川県
- 林嘉吉・西角井正大 一九七九 『日本の民俗芸能』 家の光協会
- 神奈川県教育委員会文化財保護課編 一九八一 『神奈川県民謡緊急調査報告書』 神奈川県教育委員会
- 西角井正大編 一九八一 『大衆芸能資料集成 第八卷 舞台芸I 俄・万作・神楽芝居』 三二書房
- 港北ニュータウン郷土誌編纂委員会編 一九八九 『都筑の民俗…横浜市・港北ニュータウン郷土誌』 港北ニュータウン郷土誌編纂委員会
- 藤本秀康 二〇一四 『おしゃらく』 イースト・プレス
- 牛嶋英俊 二〇〇九 『飴と飴売りの文化史』 弦書房
- 山岸みのり 二〇〇一 「東京都・神奈川県の万作について」 『芸能』七